

# 学校だより

令和6年12月発行

鳥羽商船高等専門学校 広報委員会

三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8000



## 鳥羽丸退役セレモニー

- 校長挨拶
- 新任教職員紹介
- 学科等の紹介
- 就職・進学
- 情報機械システム  
工学科「高度情報  
工学コース」新設

- 新旧鳥羽丸紹介
- 学生の活躍
- インターンシップ
- 部・同好会紹介
- 学生会活動
- 学生寮
- 乗船実習

- 教員の活躍
- 国際交流プログラム
- 学校通信

# 校長挨拶

校長 古山 雄一



赴任前は鳥羽と同じく港町である神戸で暮らしていました。鳥羽の方がはるかに空気がきれいで、また伊勢志摩国立公園内に本校も在り、風光明媚な地で仕事ができ、幸せです。4月の入学式では、校内の桜の木々からウグイスの3重奏、4重奏が聞こえ、思わず足を止めてそれら奏者たちの姿を探し求めました。幾分緊張していた私の気持ちを和らげ、そして歓迎してくれているように思いました。あれほど鮮やかで美しい鳥の歌声を聞くことができて、心が洗われるような気持ちになったことを今でも思い出します。6月14日に3代目鳥羽丸が退役を迎えました。30年間もの長い期間、本校学生等の実習に携わった練習船との別れに本校教職員、学生、同窓会等の多くの人々が別れを惜しむ姿に三代目鳥羽丸がとても慕われていたことが分かりました。浮

体物という無機物ではなく、練習船は生命体のような存在であり、お世話になった皆を包み込んでくれたように見えました。6月26日には体育祭が実施され、私にとっては新しいジャンルである「eスポーツ」に時代の変化を覚えました。日頃、紳士淑女である学生達も大きな歓声とともに競技に汗を流し、応援に力が込められていました。若さというのは素晴らしいです。6月21日は鳥羽商船高専連携協力会総会が開催されました。この協力は本校と企業との技術交流を図ることで本校の技術を社会に役立たせるためにどのように取り組むかを検討できる機会です。高専の特色として、実践的技術者の育成を図るとともに立地している地域社会の人々に貢献することで、多くの企業と個人会員から構成され、本校学生の教育・研究活動の大きな支援となつていきます。本会での益々の交流を願っています。高専フェス2024が6月23日東京、7月14日大阪の2箇所で開催されました。この合同説明会は保護者、受験生を対象として高専への受験を検討している方々への高専各校における具体的な受験案内を行っています。本校も教員、学生が協力して、丁寧に受験におけるポイントにつ

いて解説しているもので、若年層の人口減少もあり、非常に重要な催しと捉えています。開催地の東京、大阪共に、本校に興味を持ってくださっている方々が多かったので私も参加していて、嬉しかったです。本校の魅力を一人数でも多くの受験生に伝えたいと思っています。オープンキャンパスは8月9日、10日、10月12日の3日間、開催しました。一般的な概要説明の後、学科ごとの説明会を行い、参加してくれた方々は高専フェス等の説明で疑問であったこと等についての質問や実際の学校を見学することにより一層、入学後の学生達のイメージを掴みやすくなったことと思います。9月20日、第53回商船学科卒業式、第17回専攻科の修了式を行いました。私は体調不良で欠席し、江崎副校長が代理で証書授与を行っていただきました。大切な卒業式で卒業証書を私から手渡すことができずに、卒業生の皆様、ごめんなさい。10月8日、鳥羽の日に偶然にも本校練習船の四代目鳥羽丸の命名・進水式が行われました。岡山県玉野市にある三菱重工マリタイムシステムズの造船所内で挙行されましたが、9月にあらかじめ、建造中の本船を詳しく見学していたのですが、進水式でくす玉が割れ、盛大に

花火が打ち上げられ、ゆっくりと四代目鳥羽丸が動き出した様子を眼の前で見ていると、鳥羽丸が動き出した時に命が吹き込まれたかのように感じられ、感動しました。進水式後は艤装工事が行われ、来年の3月に引渡式が予定されています。本船が建造されるまでに、長い月日と本当に多くの方々の力があつたことを考えますとそれらに応えるためにも四代目鳥羽丸が活躍できるようにできる限り努めていきたいと思つています。

※人事  
令和6年4月1日から  
副校長と校長補佐を以下としました。

副校長 (総務・教務担当)  
教務主事 江崎教授  
副校長 (学生支援・厚生補導担当)  
学生主事 澤田教授  
副校長 (寮務・国際担当)  
寮務主事 橋爪教授  
校長補佐 (研究・産学・地域連携担当)  
研究主事 宮崎教授  
校長補佐 (将来計画担当)  
専攻科長 窪田教授  
校長補佐 (サイバーセキュリティ担当)  
情報メディア教育センター長 白石教授  
校長補佐 (ダイバーシティ担当)  
ダイバーシティ推進室長 豊田教授



## 商船学科の紹介

商船学科長 窪田 祥朗

商船学科は、大型船舶の士官を養成することが大きな特長です。本校を卒業すると三級海技士の筆記試験が免除され、乗船履歴も在学中の練習船による1年間だけで三級海技士の口述試験を受けられます。海技士免状は一級から六級まであり、三級海技士は外航船の士官として乗り組むための必要最低限の免状とはいえ、海技士免状の中では上級の海技免状になります。本校に入学された皆さんは、国内でも限られた上級海技士免状を取得できるエリートであるとの認識を持って、日々勉強に励んでください。

今年度は鳥羽丸の運航が非常にタイトなスケジュールとなり、学生の皆さんも実習が大変だったかもしれません。また、6月14日に、鳥羽丸退役セレモニーを学生主体で実施したことは、皆さんの記憶に新しいと思います。(この時は、寂しい思いがあつたかもしれませんが、新しい鳥羽丸は着実に建造されています。10月8日には進水式があり、船体の外観はほとんど完成しており、あとは内部のシステムを工事する段階になっています。3月14日には引き渡し式、翌15日は竣工記念式典を開催する予定です。楽しみに待っていただければと思います。

本校では、これまで同様、海事関連団体および、他の商船系高専と協働で海洋人材の育成に関するプロジェクトを推し進めています。10月から、各校主催の英語講座を配信していますので、ぜひ利用してください。配信表は、メールやTeamsで案内していますので、確認してください。個人のパソコンから受講可能です。また、毎週火曜日と木曜日の昼休み(12:30~12:45)は、2号館2階のグローバル教育拠点で、ハワイKCCの池田先生による英語セッションを実施しています。気軽に英会話に親しみ、将来のために役立ててください。



## 情報機械システム工学科の紹介

情報機械システム工学科長 北原 司

情報機械システム工学科は定員80名(2クラス)の学生を受け入れ、情報工学を主として電気電子工学・機械工学についても広く学ぶことができる学科です。

本学科の特徴は、独自のカリキュラムです。3年生までに工学の基礎を学び、4・5年生では、自らの個性や特性に合わせてユニットを選ぶカリキュラムとなっており、入学時のミスマッチを防ぐことができます。工学の基礎を一通り学んだ上で、自分が「どの分野を専門とするのか」「どんな職種を目指すのか」という目的を明確にしてユニットを選び学んで行くことができます。現在、情報分野のユニットを選択している学生が半数以上を占め、社会の情報分野人材への期待を反映しているように感じます。

また地域連携PBL (Project Based Learning) も独自の取り組みです。学年を縦断し、かつ分野を横断したチームを各教員のもとに構成してプロジェクトに取り組みます。プロジェクトは農業、水産、観光など地域の活性化につながる取り組み、企業の困りごとを解決するシステム開発など多岐にわたります。それらのプロジェクトを通じて積極的に学外コンテストへ参加し、多くの実績を上げています。今年度は、高専プロコン最優秀賞、高専ロボコン特別賞などを受賞しました。

本学科の学生へ望むことを述べます。本学科では、自分のPCを授業で使用するなど、積極的にICT技術を教育に活用しています。便利にはなりませんが、学力・技術の習得の基本は昔から変わりません。自分でよく考える、手を動かし繰り返し練習する、仲間と教えあう、教員に質問するなどです。時間がかかり努力が必要なことですが、意欲を持って取り組んで欲しいと思います。みなさんが力を伸ばし、社会で活躍できる人材となってくれるよう期待しています。



## 一般教育科の紹介

一般教育科長 中平 希

創造性豊かな技術者であるためには、幅広い教養と深い人間性を備えていることが必要です。そのために高等専門学校では、専門的知識の土台となる基礎学力とともに、人文科学・社会科学・自然科学系科目や外国語、保健体育、芸術なども学び、5年間で高等学校から大学の教養課程レベルの知識を身につけていきます。これらの科目を担う教員が所属するのが一般教育科です。総勢14名が皆さんの充実した学校生活をサポートします。

学力・教養はいわば体力に相当する基礎力として重要ですが、何かを学ぶためにはまず知らない世界に対する好奇心を持つ必要があります。本校では5年間の各ステージで自分たちの将来を考えるキャリア教育が設置されており、1・2年生を対象とする科目が「一般基礎教育」です。この授業では、入学当初の高専での勉強の仕方や学生相談室の紹介などのオリエンテーションから始まり、多彩な外部講師による講演を開催しています。今年度は、鳥羽市防災危機管理室による「鳥羽商船高等専門学校で想定される災害について」、三重県選挙管理委員会による「選挙に関する出前授業と模擬選挙」、三重県弁護士会による「日本国憲法における人権と弁護士の仕事について」、日本証券業協会講師による「社会に出る前に知っておきたいマネーの基礎知識」、思春期保健相談士による「HAPPYに生きるために〜いま知っておきたい性の話〜」、KDDI講師による「スマートフォン安全教室」、百五銀行講師による「ライフプランと金融リテラシー」、歯科医師による「高校生に知ってほしい歯科保健」、鳥羽市子育て支援室による「デートDV防止啓発講座」などを企画しています。自分たちの身の回りの防災や生活から、健康、お金、一生に関わるライフプランなど、将来に向けて大きく関心の幅を広げ、新しい可能性に目を向けてほしいと願っています。



## 専攻科の紹介

専攻科長 窪田 祥朗

専攻科は、高専本科を卒業後、さらに2年間の教育を経ることで大学の学部卒業生と同じ「学士」の学位が取得できます。本校専攻科は、海事システム学専攻、および、生産システム工学専攻の2専攻から構成され、大学評価・学位授与機構の定めた条件を満たせば、それぞれ学士（商船学）、学士（工学）が得られます。また、三重県南部で唯一、商船学や工学の学士を取得できる高等教育機関となっています。

専攻科では、特別研究を主軸にした学校生活になります。大学3年生に相当する年齢にもかかわらず大学院のように研究に打ち込めることが、専攻科の教育の特長です。各研究室では、研究に打ち込む機材や設備を提供しています。何か研究したい、あるいは、興味深いテーマがあれば、ぜひ専攻科も進路選択の一つにしてもらえればと思います。

専攻科での研究成果、開発成果は、学内だけの発表にとどまらず、学外での学会発表やコンテストでも報告してもらいます。今後も学外へどんどん発信してもらえればと思います。学外の方々からいただく意見やアドバイスは、学内にいただけでは気付かなかつたり、今までは異なる視点であったりするため、刺激になるとともに研究方法や方向性を定めるときに役立つと思います。これらの経験を、次の研究へのモチベーション、将来の糧にしてもらえればと思います。

専攻科からの進路は、希望する業界への就職だけでなく、大学院への進学も可能です。本科の学生でまだ進路に迷っているならば、専攻科も視野に入れてみてください。



## 商船学科 航海コースの 就職・進学状況について

商船学科副学科長 航海コース主任

鎌田 功一

令和6年9月の商船学科航海コースの卒業生は18名です。このうち就職が16名、進学が2名となりました。就職は16名の全員が海上就職となります。海上就職の内訳は福寿船舶に2名、商船三井、ENEOSオーシャン、商船三井クルーズ、三菱鉱石輸送、NSユニテッド海運、旭タンカー、NX海運、共栄マリン、オフショアエンジニアリング、川近シップマネジメント、第一中央内航、イイノガストランスポート、NSユニテッド内航マリン、近郵船舶管理に各1名が採用されています。就職先の船種は外航船舶、内航船舶、調査船、作業船と様々となります。進学は東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科に2名が進学となります。

ここ数年の傾向として、航海コースはほぼ全員が海上就職に就いています。就職活動では海技試験の筆記合格や無線や英語の資格だけでなく、人物評価も大事となります。特に船舶の運航では船内でのコミュニケーションが大切となります。学校生活で課外活動を含め色々なことに積極的に取り組み、自身の成長に取り組むことでよいでしょう。



## 商船学科 機関コースの 進路状況について

商船学科副学科長 機関コース主任

渡辺 幸夫

商船学科機関コース5年生の今年度の進路は14名中12名が海上職、1名が陸上職、1名が進学（工学系大学編入）となっています。私は昨年度から機関コース学生の就職活動サポートを始めましたが、昨年と同様企業の動きが大変早いのが特徴です（インターシップも人物評価の一部となっている印象もあります）。しかし商船学科に限れば、4年時の大型練習船実習の下船が2月10日以降の為、実際の就職活動開始がこれよりも早まる事はありませんので、落ち着いて準備をして欲しいと思います。その他の特徴としては、コロナ禍から引続きオンラインとオフラインの併用があげられます。例えば一次面接はオンライン、二次面接はオフラインとなつているなどです。準備することは沢山ありますが、参考資料はできるだけ揃えます。とはいえ、最も大切なことは、自分のことを良く知り、希望をしっかりと定めることです。学生諸君には悔いのないように就職活動に取り組んでもらえたらと考えています。いつでも相談してください。



## 情報機械システム工学科の 就職・進学状況について

情報機械システム工学科長

北原 司

情報機械システム工学科5年生は71名の学生が在籍しています。そのうち13名が進学、58名が就職を希望し、それぞれの進路に向けて活動を行いました。その結果、9月末までに全員の進路が決定しています。進学13名は、豊橋技術科学大学4名、本校専攻科9名となり、就職58名については、就職先を大まかに分類すると情報・通信分野が約3割、電気電子・機械分野が7割、地域で見ると県内2割強、県外7割弱となっています。就職先はこれまでの傾向と大きく変わっておらず多岐にわたりますが、依然として情報通信分野と製造業（各種メーカー）への希望が多い状態です。また、自身の学んだ専門（ユニット）にこだわらず、広い分野から就職先を探す学生が多く見受けられました。

本学科の就職状況は好調で売り手市場にあります。また、大手企業についても以前より採用が増え、本校から複数名の採用をする企業も増えました。一方で、誰もが順調に内定を得ているわけではありません。ここ数年、企業の採用活動開始時期が早まっており、4年生の3月から始まる企業も多くなってきました。その中でも希望の進路に進むためには、早い段階から目的意識をしっかりと持ち、自己分析や企業研究などしっかりと準備をして臨むことが大切です。



## 海事システム学専攻コースの就職・進学及びインターンシップ状況について

海事システム学専攻主任 山田 智貴

海事システム学専攻課程は10月に入学し、翌年の9月までを1年とし、2年間の学修を経て修了します。当専攻科学生の就職活動は10月に入学した後早々に始まり、概ね1年時の6月頃には収束するのが例年の状況で、全員が希望通りの就職先に恵まれています。学生は3級以上の海技士免状を取得していただきます。やはり乗船業務か船舶関連の企業への指向が強いです。今年度の9月に修了した学生は3名で、就職状況は海上職2名(客船、内航船社各1)、陸上職1名(船用機関メーカー)でした。来年9月に修了予定の4名の学生も既に内航船社(2名)、客船(2名)へと、4名とも海上職での内定をいただいています。残念ながら就職活動のタイミングが他の大学等と異なっており、海事システム学専攻学生が企業のインターンシップへ参加する事例は今のところありませんが、知見を増やすことができる良い機会ですので、引き続き積極的な参加を呼びかけていきたいと考えています。

## 生産システム工学専攻の進路及びインターンシップ実施状況について

生産システム工学専攻主任 出江 幸重

令和6年度の専攻科生産システム工学専攻には、1年生が8名、2年生が10名在籍しています。2年生のうち、留学生の1名を除いて9名は就職希望であり、9名が既に希望の企業から内定をいただいています。また、留学生については帰国予定であり、2年生の進路は全員が決定しています。今年度の就職に関しては、例年よりさらに動きが早くなったと感じています。人材不足の状況から売り手市場の傾向であり、企業側も優秀な人材確保のために、早期から選考する場合もあります。学生が就職先を決める場合には、インターンシップ、就職セミナー等、直接企業の方と話したり、直接企業を見たりして決定する場合があります。専攻科では、1年生の夏休みにインターンシップに参加します。今年度の学生は、昨年比べてインターンシップへの参加率が低いと、機会があることに進路について話を行い、学生の将来に対する意識を高めていく必要があると考えています。

### 令和6年3月及び令和6年9月卒業生進路先一覧(順不同) 令和6年10月10日現在

#### 商船学科

- 就職先 旭タンカー(株)、NX海運(株)、共栄マリン(株)、(株)商船三井、オフショアエンジニアリング(株)、川近シッピングマネージメント(株)、福寿船舶(株)、第一中央内航(株)、ENEOSオーシャン(株)、商船三井クルーズ(株)、イノガストランスポート(株)、三菱鉱石輸送(株)、NSユナイテッド内航マリン(株)、NSユナイテッド海運(株)、近郵船舶管理(株)、川崎近海汽船(株)、ケイラインローローバルクシッピングマネージメント(株)、(株)商船三井さんふらわあ、SECOJ (ECLシッピングマネージメント(株))、出光タンカー(株)、川崎汽船(株)、一般財団法人海上災害防止センター
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、東京海洋大学、神戸大学

#### 情報機械システム工学科

- 就職先 (株)村田製作所 八日市事業所、(株)AXSEED、サントリーブロダクツ(株) 宇治川工場、(株)中電シーティーアイ、(株)NTTロジスコサービス、中部電力パワーグリッド(株)、メタウォーター(株)、ダイキンエアテクノ(株)、花王(株) 和歌山工場、東海旅客鉄道(株)、NECフィールドディング(株)、(株)オクムラ、セツカートン(株)、(株)メンバース、美和ロック(株) 玉城工場、シンフォニアテクノロジー(株)、(株)タマディック、勤次郎(株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、田中貴金属ホールディングス(株)、セントラル硝子プロダクツ(株)、(株)サイバーエージェント、(株)FIXER、東京ガスネットワーク(株)、富士ソフト(株)、トーテックアメニティ(株)、出光興産(株) 千葉事業所、(株)百五銀行、日東電工(株) 亀山事業所、キクカワエンタープライズ(株)、ソフトバンク(株)、(株)USEN-NEXT HOLDINGS、東日本電信電話(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)豊田中央研究所、関西電力(株)、(株)ミエデン、(株)ベステックスキョーエイ、(株)ZTV、(株)明電舎、(株)トップ精工、大日精化工業(株) 滋賀製造所、東洋精機工業(株)、(株)日立ビルシステム、富士電機(株)、パナソニック インダストリー(株)、三菱電機ビルソリューションズ(株)、(株)LIXIL、第一工業製薬(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、千葉大学、島根大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学

### 令和6年3月及び令和6年9月修了生進路先一覧(順不同) 令和6年10月10日現在

#### 海事システム学専攻

- 就職先 商船三井クルーズ(株)、協同海運(株)、(株)川原動機

#### 生産システム工学専攻

- 就職先 (株)イシダ、第一工業製薬(株)、ソフトバンク(株)、パナソニックインダストリー(株)、アマゾンジャパン合同会社、旭化成(株)、(株)日立ビルシステム、第一三共プロファーマ(株)

### インターンシップ先 企業一覧(順不同) 令和6年10月10日現在

#### 商船学科

川崎汽船(株)、日本郵船(株)、(株)商船三井、ENEOSオーシャン(株)、神原タグマリンサービス(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、上野トランステック(株)、佐世保重工業(株)、国土交通省中部運輸局、三菱鉱石輸送(株)、愛知県港警察、日本海洋事業(株)、一般社団法人日本海事検定協会、NYK LNGシッピングマネージメント(株)、出光興産(株)、ダイキン工業(株)、東京電力ホールディングス(株)、ヤンマーエネルギーシステム(株)、東京水道(株)

#### 専攻科(生産システム工学専攻)

旭電器工業(株) 志摩工場、(株)FIXER、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME)

#### 情報機械システム工学科

ソフトバンク(株)、村田機械(株)、Daigas、出光興産(株)、日本ゼオン(株)、JFEプラントエンジニアリング(株)、ムラテックCCS(株)、CTCテクノロジー(株)、NECネットエスアイ(株)、花王(株)、第一三共バイオテック(株)、サントリーグループ、パナソニックコネクタ(株)、東京エレクトロングループ、アイング(株)、富士フイルムビジネスイノベーション(株)、日本たばこ産業(株)、オークマ(株)、(株)LIXIL、三菱電機(株)、スターシステム(株)、防衛省 自衛隊、キャノンシステムアンドサポート(株)、NTTコムエンジニアリング(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、中部電力(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME)、日本放送協会(NHK) 名古屋放送局、(株)LUL Japan、美和ロック(株) 玉城工場、(株)半導体エネルギー研究所、富士石油(株)、富士通グループ、(株)村田製作所、(株)あとらす二十一、キクカワエンタープライズ(株)、(株)百五銀行、西日本電信電話(株) (NTT西日本)、KDDIエンジニアリング(株)、山崎製パン(株)、(株)NHKテクノロジーズ、関西電力・関西電力送配電、横河ソリューションサービス(株)、(株)JERA、シンフォニアテクノロジー(株)、ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(株)、オムロン フィールドエンジニアリング(株)、西日本旅客鉄道(株)、アステック(株)、キャノンマーケティングジャパン(株)、(株)JALエンジニアリング、京セラコミュニケーションシステム(株)、三菱地所プロパティマネジメント(株)、e.TEAM ANA、ダイキン工業(株)、(株)ニコン、アイリスオーヤマ(株)、(株)MBM、ECLエンジニアリング(株)、リニューアブル・ジャパン(株)、(株)FIXER、NECフィールドディング(株)、(株)小田原エンジニアリング、フロイント産業(株)、中部プラントサービス(株)、アクセンチュア(株)、トヨタ自動車(株)、(株)Mテック、エム・ビ・エーインターナショナル(株)、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学

# 情報機械システム工学科「高度情報工学コース」 新設とコース編成について

情報機械システム工学科長 北原 司

令和7年度4月から情報機械システム工学科に「高度情報工学コース」新設します。また、従来の学科カリキュラムは「総合工学コース」として継続されます。これまで80名であった同学科の定員を20名増員することで合計100名とし、高度情報工学コース（40名×1クラス）、総合工学コース（30名×2クラス）の1学年3クラス編成となります。

## 1. 高度情報工学コース

現在、AI、サイバーセキュリティなどの高度な情報技術の躍進、DX（デジタルトランスフォーメーション）などによる需要増加によって、社会では急激に情報人材のニーズが高まっています。一方で日本ではこれらの人材は圧倒的に不足しており、その育成が急務となっています。そのような背景のもと、高度情報工学コースを新設し、情報工学を主攻とする特化型のデジタル分野に秀でた人材を育成します。これまで、本学科が実施してきた機械系科目を先端の情報分野の科目に振りかえ新たなコースを新設しました。カリキュラムの特徴とそれを構成する科目は次の通りです。

### カリキュラムの特徴

- (1)生成系AI、サイバーセキュリティ、DX、データサイエンス、UI/UX/デザインをメインストリームとして、多様な事象を扱います。
- (2)1年時からPBLプロジェクトに参画させ、本校の特徴としてスマート水産・農業、GX、海事・海洋DXの課題に展開します。インターンシップや地域や産業界と交わる環境を多様に提供し、学年縦断型のチーム編成と、IT産業技術者と交わることで主体的な思考の経験知を身に付け、新たな価値を創造する力、対立やジレンマに対処する力、責任ある行動をとる力と高度情報スキルを相乗させます。

### 特徴的な科目

- サイバーセキュリティ  
ネット上の情報を安全に取り扱うためのスキルを身に付けます。セキュリティシステムの設計・構築やサイバー攻撃に対応したシステム運営についての技術を学びます。
- DX 概論  
DXでは、AI、IoT、ロボットをはじめとするデジタル技術を活用して、業務やものごとの自動化や改善・変革を行います。実務家教員等による事例から、それらのための手法と技術を学びます。
- データサイエンス  
世の中のデジタルツールによって蓄積されるようになったビッグデータを解析します。クラウド・統計・AIなどを活用して出力された解析結果を課題解決や未知の発見につなげます。
- デジタルファブ리케이션  
デジタルデータを利用して「ものづくり」を行います。3D CAD、3Dプリンタ、3Dスキャナ等の機器を活用し、短期での試作開発や開発コストの低減を図るなどの技術を学びます。

## 2. 総合工学コース

これまでの情報機械システム工学科のカリキュラムについて「総合工学コース」と名付け、そのまま継続します。情報分野を軸として、電気電子分野、機械分野を広く学びます。

情報機械システム工学科において、高度情報工学コースでは社会のデジタル化に伴う産業の変革に貢献できる次世代エンジニア、総合工学コースでは幅広い知識や技術を有し工学的な解決法を提案できる実践的エンジニアの育成を目指しています。

**情報機械システム工学科 20名定員増**

高度情報工学コース 定員40名 + 総合工学コース 定員60名 = 合計定員 100名

定員80名であった情報機械システム工学科を20名増員し、合計定員100名とします。同学科内に新たに「高度情報工学コース(定員40名)」を新設し、従来の学科カリキュラムは「総合工学コース(定員60名)」として継続します。

情報機械システム工学科の特色あるカリキュラム

|  |  |
|--|--|
| <b>高度情報工学コース</b> 〔デジタル分野に特化した、先端の情報工学を学ぶ〕<br>デジタルファブ리케이션/サイバーセキュリティ<br>DX概論 / DX概論 / データサイエンス<br>UI・UXデザイン/スマート農業・漁業 | <b>総合工学コース</b> 〔情報系から電気電子まで幅広く学ぶ〕<br>機械工学概論 / 機械加工概論 / 工業力学 / 機械加工実習 / 古典制御 / 工作法 / 機械設計 |
| 共通科目 〔プログラミング/情報工学/電気電子工学/電気電子回路<br>基礎/WEBアプリケーション/マイコン工学/制御工学/工学数学基礎〕   |  |
| 選択科目 〔AI/ビッグデータ解析/モバイルクラウドモブ<br>センサーネットワーク / 回路設計 / 情報材料 / 生産工学〕   |  |

# 練習船鳥羽丸(3代目)と新造練習船鳥羽丸について

商船学科 航海コース 鳥羽丸船長 齊心 俊憲

## 1. はじめに

鳥羽商船高等専門学校の校内練習船（係留帆船「天城」を除く）は、1916年に建造された練習帆船「あまき」から始まり、2024年で108年という歴史があります。

令和6年（2024）をもって役目を終えた練習船鳥羽丸は、6代目の校内練習船であり「鳥羽丸」としては3代目となります。本校における歴代の校内練習船は以下の通りです。

- ① 練習帆船「あまき」（バーク型・総トン数300トン）
- ② 汽艇「誠丸」（総トン数38トン・往復機関）
- ③ 練習船「たつ丸」（総トン数16.11トン・焼玉式発動機）
- ④ 練習船「鳥羽丸（初代）」（総トン数56.52トン）
- ⑤ 練習船「鳥羽丸（2代目）」（総トン数325.67トン）
- ⑥ 練習船「鳥羽丸（3代目）」（総トン数244トン）【図1】  
【全長40.00m・全幅8.00m・ディーゼル主機1,300馬力】



図1「鳥羽丸(3代目)」

平成5年（1993）12月13日に三井造船株式会社玉野事業所にて起工、平成6年（1994）5月24日進水、平成6年（1994）8月19日竣工。

## 2. 練習船鳥羽丸の運航について

鳥羽丸の実習は、学生の登校期間に集中して行われます。商船学科1年生から5年生及び情報機械システム工学科1年生の練習船実習（火曜日・水曜日）、商船学科3年生（木曜日午後：通年）及び4年生（金曜日午後：前期）の実験実習を運航しています。

学校行事として、「オープンキャンパス」「海学祭」など、海事広報活動として「故郷の海を愛する会」「名古屋港PR航海」「四日市港PR航海」などの体験航海や一般公開を行っています。

## 3. 練習船鳥羽丸(3代目)と最終運航

練習船棧橋の工事が開始されることから、2024年6月13日（木）の商船学科3年生の実験を最後の実習航海とし、6月14日（金）に「鳥羽丸お別れセレモニー」【図2】及び「記念航海」を行いました。練習船として役目を終えた鳥羽丸は、6月17日（月）に係留地の西伊豆安良里港へ最後の航海（空船廻航）を行いました。

30年前に設計されましたので、現代にはそぐわない部分もありました。しかし、航海計器や制御装置など換装し、約30年間にわたり練習船として最後の日まで、その役目を果たしました。小型ですが丈夫な船体を持ち、太平洋を航行する長距離航海でも安心して航行できる船でした。



図2「JH3304(コールサイン)&UW1」

## 4. 新造練習船鳥羽丸(4代目)

新しい鳥羽丸は、商船系高専シリーズ船（大島丸・弓削丸に続く3番船）として計画され、各校の練習船は同じ大きさで建造されます。

商船系高専各校の考えによって、練習船はそれぞれ個性化が図られています。本校では鳥羽丸（3代目）30年間の運用実績を活かし、造船所の持つ最新技術を新造練習船鳥羽丸

【図3】に導入しています。航海実習で太平洋を航行することから外海航行能力の向上を図り、DPS（自動船位保持システム）を中核とした新しい技術の計画・実装しており、災害時支援能力も強化されています。



図3「新造練習船鳥羽丸イメージCG」

練習船鳥羽丸（4代目）は、三菱重工マリタイムシステムズ株式会社（岡山県玉野市）にて建造中で、2024年10月8日（火）に命名・進水式を執り行いました。今後、艀装工事及び試運転が行われます。2025年3月に本校に引き渡され、4月より就航する予定です。【図4・5】



図4「練習船鳥羽丸の進水」



図5「本校学生による支綱切断」

# 学生の活躍

**第12回高校・高専気象観測機器コンテストにて選考委員特別賞 佐々木嘉和賞受賞**

情報機械システム工学科4年

山田 和汰

私は第12回高校・高専気象観測機器コンテストにおいて、選考委員特別賞である佐々木嘉和賞を受賞しました。副賞として、この夏に米国研修に参加する機会をいただきました。アメリカではアメリカ国立気象局やAdvanced Radar Research Center (ARRC)などを案内していただきました。アメリカ国立気象局は気象に関する政府機関が入っている施設です。ここでは、アメリカ全土の気象や降水量を管理・予測している部屋や、最上階にある360度の展望台などを見学しました。ARRCとはレーダー技術の研究施設です。竜巻を追跡するための特殊車両やレーダーの実験に使用される電波暗室などを見学し、先端技術に触れることができました。貴重な体験でした。

また、現地の学生に向けて、受賞した研究内容であるLPWAを用いた土砂災害警報システムの発表を行いました。とても良い経験になりました。



**高専GCON2023で最優秀賞(文部科学大臣賞)・JFEスチール賞を受賞**

情報機械システム工学科 卒業生

山浦あかり

2024年1月21日(日)に開催された第2回高専GIRLS SDGs × Technology Contest(高専GCON2023)にて、「CO2を吸収する無焼成スマート牡蠣殻タイل」の開発で、最優秀賞(文部科学大臣賞)とJFEスチール賞のダブル受賞を達成しました。私たち鳥羽商船高専の学生がタイルの試作を、豊田高専の学生がタイルの評価を主に担当。加えて、連携企業であるケアシェル(三重県鳥羽市)が牡蠣殻粉末の供給や固化プロセスを、中島築業(岐阜県多治見市)が試験方法やタイル成形の知識提供及び製造を行いました。活動をご支援いただいた教職員の皆様そして連携企業の皆様に感謝申し上げます。研究室の後輩たちには、地域課題の解決を通じて、世界課題である二酸化炭素削減に向かって研究を頑張ってくださいと思います。



**みえまちキャンパスベストパネル賞を受賞**

情報機械システム工学科5年

倉木 由衣

「みえまちキャンパス」は、県内の大学・高専が行っている地域貢献の取り組みを発表する場です。この発表会で私たちは「小中学生のためのプログラミング教材の開発」をテーマに教材の開発、小中学校でおこなった授業について報告しました。活動では、特にゲーム要素を取り入れるなどして、生徒にプログラミングに興味を持ってもらうことに力を入れました。

当日は、他の参加者の発表からも多くの刺激を受けました。地域に貢献する活動から学ぶことが多かったです。自分たちの研究を外部の方に知ってもらい、評価を受ける機会がなかなか無いので貴重な経験になりました。結果として、パネル展示部門で「ベストパネル賞」をいただくことができ、非常に嬉しかったです。この経験を次に活かして、より良いプログラミン教材の開発を目指していきたいです。



**全国高校総体(インターハイ)少林寺拳法大会に参加して**

商船学科航海コース3年

今井 加恋

最後のインターハイに出場することができてとても嬉しかったし、他の高校の拳士達の演武をみてすごく勉強になりました。鳥羽の近くに道場がないので出稽古することが難しいです。新しいことを吸収する場がすごく限られている私にとってすべての大会が私の成長の場であると言えます。今回の大会も技術的な面でも、精神的な面でも成長することができたと思います。初めての佐賀県は暑くてびっくりしましたが、天気もすごく良く試合前のウォーミングアップがすごく捗りました。インターハイという大きな舞台で自分の演武ができることができてすごく光栄でした。まだ部活は引退しませんが、高校生大会に出れなくなるので折り返し地点に来たかと思えます。これからは後輩の指導と共に入部した時から目標である初段にし、練習に励んでいきます。そして、お忙しい中、佐賀県まで引率で来て下さった教官方、指導して下さった顧問の教官、応援に駆けつけてくれた家族のみんなにとっても感謝しています。



## ロボコンに参加して

情報機械システム工学科4年

村田 輝瑠

今年度、Aチームでチームリーダーを務めました。チームの最高学年として粉砕の気持ちで挑んだ4度目のロボコンになりました。

今年のテーマは「ロボたちの帰還」。ロボットがボールやボックスを持ち帰るといふ、非常に難易度の高いルールでした。私たちAチームは滑空によって安定した着地をするロボットや、ばねを利用したジャンプでダイナミックにボックスを持ち帰るロボットなどで大会に臨みました。また、今回はロボットの外装を和テイストで統一するなど装飾にも力を入れました。

この安定した滑空や装飾が評価され、特別賞をいただくことができました。

しかしロボットの機構をすべて見せることができなかったことや、目標としていた全国大会出場を逃すなど悔しさの残る部分もありました。

私はロボコンにメインで関わるのは今年でラストだと考えていますが、次年度もチーム全員で協力し全国大会出場を目指していきます。

最後になります。が、私たちのロボコンの活動に協力・支援してくださった方々に最大限の感謝を申し上げます。



## 「第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト課題部門」で最優秀賞と文部科学大臣賞を受賞

情報機械システム工学科1年

鮎川 颯

私たちは10月19・20日に開催された「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」で地域のインバウンド対応を支援する「Triplean」を開発し最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞しました。

鳥羽市では観光客の案内や公共施設の清掃を担う人手が不足しているという問題を抱えています。「Triplean」ではこの問題を解決するため、観光客の方々に根付く施設利用後の寄付と、地域住民を清掃員として雇用する仕組みを構築しました。これにより、地域全体でインバウンド受け入れに対応することを目指しています。

本システムを開発するにあたって最初に、鳥羽市の観光課の方にヒヤリングを行い、現状の課題を深く理解しました。その後はチームで役割分担して協力しながら完成させました。

これからも地域の課題に目を向け、自分たちの技術を磨きながら課題解決に取り組んでいきたいと思えます。



## コンテスト実績一覧

### ◆ 令和5年度 ◆

第12回高校・高専気象観測機器コンテスト (令和5年12月16日開催)

| 結果     | 備考 |
|--------|----|
| 優秀賞    |    |
| 佐々木嘉和賞 |    |

第2回高専GIRLS SDGs×Technology Contest [GCON 2023] (令和6年1月21日開催)

| 結果                          | 備考                     |
|-----------------------------|------------------------|
| 最優秀賞<br>文部科学大臣賞<br>JFEスチール賞 | チーム名: かきつ娘 (豊田高専合同チーム) |

みえまちキャンパス (令和6年2月22日開催)

| 結果      | 備考                     |
|---------|------------------------|
| ベストパネル賞 | パネル展示部門<br>チーム名: 北原研究室 |

高専ワイヤレステックコンテスト (WiCON2023) (令和6年3月1日開催)

| 結果    | 備考                                      |
|-------|---|
| NICT賞 | ワイヤレス利活用部門<br>チーム名: masuyama-lab.gyosen |
| リコー賞  | ワイヤレス利活用部門<br>チーム名: nakakoga-lab        |
| NEC賞  | ワイヤレス基礎技術部門<br>チーム名: izue-lab.ama       |

### ◆ 令和6年度 ◆

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2024東海北陸地区大会 (令和6年10月6日開催)

| 結果                | 備考   |
|-------------------|------|
| 特別賞(東京エレクトロン株式会社) | Aチーム |

第35回全国高専プログラミングコンテスト (令和6年10月19日～20日開催)

| 結果  | 備考  |
|---|---|
| 文部科学大臣賞<br>最優秀賞<br>情報処理学会若手奨励賞<br>電子情報通信学会若手奨励賞 | 課題部門<br>チーム名: Triplean<br>インバウンド対応・清掃支援システム |
| 敢闘賞   | 課題部門<br>チーム名: TerraMeal                     |

GNSS・QZSSロボットカーコンテスト2024 (令和6年10月20日開催)

| 結果       | 備考             |
|----------|----------------|
| 優秀賞 (2位) | チーム名: シン☆鳥羽丸GO |

第3回高専GIRLS SDGs×Technology Contest (GCON 2024) (令和6年12月15日 本選開催)

| 結果   | 備考              |
|------|-----------------|
| 本選出場 | チーム名: ezaki-lab |

高専ワイヤレステックコンテスト (WiCON2024)

※2025年3月に表彰審査 本選大会

| 採択結果 | 備考  |
|------|---|
| 3件採択 | ワイヤレス利活用部門<br>チーム名: ezaki-lab.ship<br>チーム名: Shiraiishi-lab<br>チーム名: プラントDX研究会 (鈴鹿高専合同チーム) |

## 各種大会実績一覧

第62回東海地区国立高等専門学校体育大会(高専体育大会)

| 競技       | 種目             | 結果  | 備考 |
|----------|----------------|-----|----|
| 卓球       | 個人の部 (男子シングルス) | 3位  |    |
|          | 個人の部 (男子ダブルス)  | 3位  |    |
| 剣道       | 男子団体勝ち抜き       | 優勝  |    |
|          | 男子団体の部         | 準優勝 |    |
| 水泳       | 男子200M自由形      | 3位  |    |
|          | 女子100M平泳ぎ      | 3位  |    |
| バスケットボール | 男子             | 3位  |    |
| サッカー     | 男子             | 3位  |    |

## 高専体育大会以外の大会

| 競技・大会名                             | 成績等        | 学生                    |
|------------------------------------|------------|-----------------------|
| 令和6年度<br>全国高等学校総合体育大会<br>少林寺拳法競技大会 | 女子組演武の部 出場 | S3 今井 加恋<br>J3A 石井 結実 |

# インターンシップ

## インターンシップのすゝめ

商船学科機関コース5年

匹田 梢真

私は夏休みに商船三井のインターンシップに参加しました。

外航船社に入るつもりは全くありませんでしたがインターンに参加し、魅力を知ること以外航船員になることを選びました。もし、面倒臭いという安易な考えでインターンに行かなければ外航船員になることは選んでいなかったと思います。

機会は掴まないと逃げていきます。迷ったら行動しましょう。

インターンへの参加は必ず就職活動の一助となります。社風や、企業が何を大切にしているのか、そして就活生に何を求めているのかを知ることが出来ます。また、船員の方々と話すことができ、日々の勉強のモチベーションが大きくなり高まりました。そして、採用試験時などに顔を知っている人がいると、かなり緊張が和らぎます。迷ったらインターンに参加しましょう。



## ソフトバンク株式会社でのインターンの感想

情報機械システム工学科4年

浦口 桜太

ソフトバンク株式会社（SB）のインターンに参加させて頂きました。まず「会社の特色を味わえる」と感じました。SBは働く環境がとてきれいで、私服で出社したり飲み物が自由に飲めたり、特殊で面白かったです。実際に行かないと分からない情報は段違いになりました。

もう一つ「インターンは2社以上行った方がいい」と思いました。SBのインターンは正直特殊すぎて他企業と比較しづらいです。就職に役立てるためには、ほかのインターンにも参加して情報を仕入れた方が安心感を得られると思います。全体的には様々な人と話せてとても実践的な知識を得られました。参加できてよかったです。



# クラブ紹介

## バレーボール部の紹介

情報機械システム工学科5年

辻井 健斗

現在のバレーボール部の部員数は、5年生6名（女子3名）、4年生3名（女子3名）、3年生4名（女子3名）、2年生14名（女子3名）、1年生6名の計33名で活動しています。

活動日は、男子、月火木金土の週5日、女子、月火土の週4日16時半～18時半まで行っています。定期的に他校との練習試合を行い、技術向上とチーム力を高めています。和気あいあいとした雰囲気の中で、部員同士が支え合い、切磋琢磨しています。

今年開催された

東海北陸地区高専体育大会では、結果を残すことはできませんでしたが、チームとしての課題を見つけることが出来、沢山の学びを得ることが出来たので、今後は優勝を目標として、日々の練習に励んでいきます。



# 学生会活動

## 学生会活動について

情報機械システム工学科5年 永井 玖愛

私たち学生会は、リーダーズトレーニングや体育祭・海学祭の運営など、幅広く活動しています。9月28日に行われたリーダーズトレーニングでは、互いにサポートし合える学生を養成することを目的として、コミュニケーションスキルの向上を図るためのグループワークなどが行われました。スクールカウンセラーの方による講演も行われ、他者の意見を否定せず、尊重する姿勢の重要性を学びました。

6月20日に開催された体育祭は、これまで商船学科の一部の学生が実習のため参加できないという課題がありました。今年度は全校学生が揃う形での開催が実現しました。この体育祭では、学生たちが一丸となって競技に挑み、全種目を大盛況のうち無事終了することができました。

現在、私たちは11月30日と12月1日に行われる海学祭の準備に全力を注いでいます。今年のテーマは「ハイカラフェスティバル」です。昨年に続き、2日間にわたる一般公開形式で開催されます。今年は一

模擬店27店舗、ライブパフォーマンス15団体の参加が予定されており、学生たちが一から企画・運営するさまざまなイベントが繰り広げられます。例年多くの参加者で賑わうビンゴ大会に加え、新たに謎解きなどのイベントを導入すること、より幅広い年齢層の来場者にも楽しんでいただける内容となっています。さらに、今年初めての試みとして、打ち上げ花火を予定しております。学生のみならず学外から訪れる方々にも最後まで満足いただける海学祭になっておりますので、ご期待ください。  
(11月25日執筆)



# 学生寮

## 学生寮について

商船学科航海コース5年 女子寮長 谷 結野

寮寮は県内外から多くの学生が集っています。

現在、男子寮141名、女子寮30名からなる計171名で生活しています。

コロナ対策が撤廃され、以前のような学年の垣根を超えた交流が活発になってきました。談話室では料理を楽しむ姿や談笑に花を咲かせる姿が見受けられます。

また、寮生は規則正しい生活を送るため、日課にそって過ごしています。ルールの多い共同生活の中で、少しでも暮らしやすい寮生会役員が主体となり、運営方針や行事企画を話し合っています。

今年男子寮長に2年生が、男子副寮長に2、3年生が抜擢され、新たな風が吹き始めています。

共同生活の中で、将来社会で役立つような習慣を培い、日々成長できる場となっております。



## 寮行事予定

|   |                      |
|---|----------------------|
| 4 | 入寮式                  |
|   | 新入寮生オリエンテーション        |
|   | 新入寮生と在寮生との対面式        |
|   | 寮生集会(寮役員等選出)         |
|   | 寮生防災訓練(火災)           |
| 5 | 新入寮生歓迎球技大会 ※令和6年度は中止 |
|   | 新入寮生個人面談             |
| 5 | 寮役員校長面談              |
|   | 新入寮生部屋替え             |
| 6 | 寮生歓迎バーベキュー大会         |
| 7 | 七夕行事                 |
| 8 | 閉寮式                  |
|   | 寮生大掃除、S4退寮、閉寮前点検     |
|   | 寮生帰省、閉寮、閉寮点検         |

|    |                           |
|----|---------------------------|
| 9  | 寮生帰寮、開寮式                  |
| 10 | 寮生集会(寮役員等選出)              |
|    | 寮生防災訓練(夜間・地震)             |
| 11 | インフルエンザ予防接種               |
|    | 寮生校長面談                    |
| 12 | 寮生クリスマス会                  |
|    | 大掃除、閉寮前点検、閉寮式             |
| 1  | 寮生帰省、閉寮、閉寮点検              |
|    | 寮生帰寮、開寮式                  |
| 2  | 卒業を祝う会                    |
|    | 寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式           |
|    | 1~4年生寮生帰省閉寮(10:00)、S5寮生退寮 |

# 乗船実習

## 「日本丸での乗船実習」

商船学科航海コース5年

宮根 航翔

私たちは、令和5年9月から令和6年の2月までの5か月間の実習を海技教育機構の練習船「日本丸」で行いました。

本実習は、東京港の晴海ふ頭から始まり、横浜港、名古屋港、神戸港を経てシンガポールへ行き、再び晴海ふ頭へ戻るという行程でした。

今回の実習では、片道約2600海里、12日間のシンガポールへの遠洋航海を経験しました。

航海中は、波高2mを超える荒波で船酔いに悩まされた日々、山積みの課題に追われ眠れない日、教官に叱られ落ち込んだ日、様々な辛いことや苦しいことがありました。

しかし、どんなに辛く苦しい実習でも、共に支え合う仲間がいました。

毎日の寝食を共にし、当直や実習では力を合わせ、自由時間はゲームをして遊んだり、他愛のない話で盛り上がったりと日本丸という限られた空間だからこそ築けた友情の力で困難を乗り越えることができました。

また、寄港地や名古屋港で行われた一般公開で、地



域の方に「頑張つてやー」という温かい励ましの言葉をいただいたことも、実習の大きな励みとなりました。

乗船当初は、下船日までの日々を数えて暗い気持ちになることもありましたが、実習が進むにつれて長く感じた日々があつたという間に過ぎ、下船の日には「まだ乗っていたい」と思うほどの充実感と成長を感じることができました。

今回の実習を通して、航海士として必要な知識や技術はもちろんの事、将来海上で働くうえでの心構えや仕事の楽しさ、そして厳しさなど、さまざまなことを学び、大きく成長することができました。この「日本丸」で培った経験を糧に、立派な航海士を目指して精進していきます。

## 教員の活躍

商船学科

北村 健一

商船学科の北村健一と申します。ヒューマンファクターの観点から船舶運航における安全管理に関する研究を進めています。特に、船員の心理状態や判断力が船舶運航に及ぼす影響を分析し、ミスや事故の原因となり得る要因を抽出する研究に注力しています。シミュレーション技術を用いて様々な環境下での行動を解析し、リスクを低減するための教育・訓練プログラムの開発も行っています。本研究は、船舶運航の安全性向上と、より快適な労働環境の構築に貢献を想定しています。



# 国際交流プログラム



## KCC国際インターンシップに参加して

商船学科機関コース3年 成瀬 瑛

私は海外に行くのが初めてで出国する前まではすごく緊張していました。

ですが、いざハワイでの留学が始まるとそんな事を言う暇もなく、すごく心に残る留学となりました。その中でも特に伝統航海術が印象的でした。

一つ目はハワイの伝統カヌーホクレアに行きました。そこには最先端の機器が何もなく、星の位置、動き、風、波を読んで世界一周の航海をしていると聞き、衝撃を受けました。



## オーストラリア・シドニー研修

商船学科航海コース3年 松野 央典

今回、国際交流プログラムでオーストラリア・シドニーを訪れ、さまざまな活動に参加しました。特に印象に残ったのは海洋博物館で、日本との貿易に関する新たな発見があり、関係者から貴重なお話も伺うことが出来たことです。学校では、慣れない英語ながらも多国籍の方々と交流し、日本の食べ物シェアするなど、友好的な関係を築くことができました。また、観光地の見学やクルージングといった1ヶ月という短い期間を充実したものにできました。失敗や思い通りにいかないこともありましたが、それらも含めて大切な経験であり、同時に、海外に憧れていただけの昔の自分とは違う見方や価値観を感じる事ができました。最後に、この場をお借りして私の留学をサポートして頂いた方々に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



情報機械システム工学科 准教授

児玉 謙司

生産技術研究室（児玉研究室）は令和4年4月にスタートして、3年目を迎えた。現在、プラントエンジニアリングをテーマとした教育研究を行っている。PBL活動で取り組んでいる地産地消型のバイオディーゼル燃料生成プロジェクトでは、鳥羽産の牡蠣殻を触媒としたパイロットプラントを建設した。学生たちは、触媒の製造、プラントの運転、実験データ収集を行っている。生成物の分析は、商船学科の広瀬研究室、三重県工業研究所の協力を得て実施している。学生たちは管路圧損を考慮した流体制御や、ヒーターの出力制御などに苦戦しつつもBDF生成を行うことができた。ただし、その含有率は現状15%であり、製造条件を最適化し含有率を上げ、JIS規格を満たすBDFを生成する必要がある。これらの成果は、令和6年10月に開催されたマリンエンジニアリング学会において「牡蠣殻触媒を利用した生成BDFの原料油に関する基礎特性」というテーマで、広瀬研究室学生が発表を行っている。

## 卒業式及び修了式の挙行について

令和6年3月15日（金）に令和5年度第1回情報機械システム工学科卒業証書授与式並びに第18回専攻科（生産システム工学専攻）修了証書授与式を、令和6年9月20日（金）に第53回商船学科卒業証書授与式並びに第17回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙行了いたしました。

卒業生・修了生は鳥羽商船高専での思い出を胸に、晴れやかな姿で本校を巣立っていきました。



工業系学科卒業式の様子



商船学科卒業式での登壇礼（とうしょうれい）の様子

## 公開講座一覧表

### 公開講座一覧 サイテクラッド in 鳥羽商船高専 2024

| 講座名称                          |
|-------------------------------|
| デジタルファブリケーション講座               |
| 好きな色に光るLEDランプを作ろう♪            |
| プラントエンジニアリング講座                |
| IoTについて学ぼう♪                   |
| マイコンプログラミングで課題解決【micro:bit】   |
| マイコンプログラミング講座【IchigoDyhook初級】 |
| マイコンプログラミング講座【IchigoDyhook中級】 |
| 星座であそぼう & レーザー加工機でモノづくり       |
| ROVを操縦してみよう ～海洋探検しませんか～       |
| 光るアクリルスタンド作成                  |
| ROVの操縦体験講座 ～海底探査への挑戦～         |
| 初級映像配信講座                      |

来年も公開講座を企画予定ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください！

## R6.1～R6.12に締結した協定一覧

- 三重大学との連携教育プログラムの実施に関する協定（締結日：令和6年3月12日）
- 広島大学、海上保安大学校及び商船系高等専門学校との交流と連携・協力の推進に関する包括協定（締結日：令和6年3月14日）
- 商船系高等専門学校（富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校及び弓削商船高等専門学校）と日本内航海運組合総連合会との交流と連携・協力の推進に関する包括協定（締結日：令和6年3月15日）
- 鳥羽商船高等専門学校と農林水産省東海農政局三重県拠点との包括的連携協力に関する協定（締結日：令和6年9月4日）



## 編集後記



学校だより96号を発行するにあたり、執筆、編集にあたり学生、教職員のご協力に厚く御礼申し上げます。

今年度は3代目鳥羽丸が退役しました。ファンネルマークを取り外され、練習船としての任を解かれた鳥羽丸は6月17日夕刻に慣れ親しんだ池の浦を旅立ちました。4代目鳥羽丸は2025年3月末に就役します。新鋭機器を装備した4代目鳥羽丸は、本校学生の象徴として活躍することでしょう。さらに来年度からは高度情報工学コースが新設され、情報人材育成のさらなる強化を図ります。

変化の大きなうねりの中で、学生諸君のさらなる活躍を祈念し、編集後記といたします。（広瀬記）

## 学校だより

Vol.96

令和6年12月発行

独立行政法人国立高等専門学校機構  
鳥羽商船高等専門学校 広報委員会  
三重県鳥羽市池上町1番1号  
TEL 0599-25-8000 <https://www.toba-cmt.ac.jp>

バックナンバーは右のQRコードまたは本校ホームページからご覧ください。



学校ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



X

▼バックナンバー

